

“心”と“体”のリハビリテーション
上林記念病院

特集インタビュー

vol. 4



ひつじ
通信

～ You & I ～

これって認知症かも…

認知症に悩む前に知ってほしい

4

つのこと

sheep



Communications



他の病気と同様に、認知症も早期発見・
早期治療がとても重要です。

上林記念病院 副院長 高橋 正洋

これって認知症かも…

認知症に悩む前に
知ってほしい

4

つのこと

上林記念病院 副院長 高橋 正洋

認知症はご本人にもご家族にとっても切実な問題です。正しく理解し、誤解や偏見なく対応することが求められます。認知症の症状や早期発見のためのポイントなど、副院長・高橋医師が解説します。

上林記念病院 副院長

高橋 正洋(たかはし まさひろ)

【主な資格】日本精神神経学会 専門医・指導医、精神保健指定医、
コンサータ錠・ビバンセカプセル登録医 (ADHD適正
流通管理システム)

1

認知症の主な症状とは？

主な症状としては、以前より物忘れがひどくなるなどの【記憶力の低下】、料理・片付け・運転・計算などのミスが多くなるなどの【理解力・判断力の低下】今がいつか(時間)、ここがどこか(場所)わからなくなるなどの【見当識障害】などが挙げられます。また些細なことで怒りっぽくなったり、気分の落ち込みや不安、意欲低下などうつ病のような症状や、幻聴や被害妄想などがみられることもあります。

最近では、記憶力の低下などの自覚症状が無くても他の症状が気になって病院を受診したら実は認知症だったと発覚するケースも多くみられます。

2

受診を考えるべきタイミングは？

「最近物忘れがひどくなった」「道が分からなくなることがある」「以前より元気がなくなった」「イライラすることが増え

た]…これらのような変化にご自身や周りの方がお気づきになられたときに病院を受診されるとよいでしょう。認知症の薬は認知症が進行してしまった方より認知症初期の方のほうが認知症の進行を抑える効果があると言われています。そういった観点からも早めの受診の方がよいといえます。

もの忘れなどの症状などでご本人やご家族が悩み続けるより、まずは気軽に病院を受診し認知症の可能性があるかないかご相談されると良いと思います。認知症と診断されたなら専門の治療を受けることも出来ますし、もしくはそれ以外の病気が見つかり、治療を進めることができる可能性もあります。

物忘れ以外の面、例えば情動面での変化、記憶の変化、そして身体の変化などの様々な変化も、認知症の症状の一つであることがあります。例えば、『レビー小体型認知症』の患者さんであれば、歩行が少し小刻みになって以前より歩きづらくなる症状が見られることがあります。身体の変化などがあった場合も病院を受診して、様々な検査を受けるとよいでしょう。

3

認知症の検査や治療は？

認知症には『アルツハイマー型認知症』、『脳血管性認知症』、『レビー小体型認知症』など様々なタイプの診断があります。まずは詳しい問診・認知症機能検査を行い、必要に応じて血液検査、頭部MRI検査、脳波、脳血流検査などを行います。初期段階では、MRIだけで判別できない場合がありますので、解析ソフトを使って脳の海馬の萎縮度合いを見ます。それらの検査結果と認知機能検査や問診の結果を合わせて診断します。

認知症と診断された場合には、認知症のタイプに応じて治療を行います。

例えば、『アルツハイマー型認知症』の場合には、コリンエステラーゼ阻害薬などの認知症の進行を遅らせるお薬を処方する場合があります。薬での治療は進行が緩やかになる効果があり、データ上では認知機能が以前よりも上がった、記憶力が少し戻ったという例もあります。今後の医療の進歩により、認知症に効く薬が生まれることも期待されています。特発性正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫などが原因で生じるものは外科的に治療できる場合があり、脳神経外科と連携して治療にあたることもあります。

不安定な精神状態により暴力的になる方には、対処療法を行います。夜間せん妄といわれる症状や不眠が強い人には向精神薬を一時的に処方することはありますが、精神科の専門医でないと扱いつらく、副作用も出やすいです。例えば、深夜徘徊などをする人を薬で抑えすぎてしまうと、徘徊したときに副作用でふらついて転倒してしまう…などということもあります。薬を飲みすぎることによって症状が悪化したり、思わぬ事故につながってしまうこともあります。薬でどこまで症状を抑えるかは、ご本人やご家族と話し合っ決めていきます。

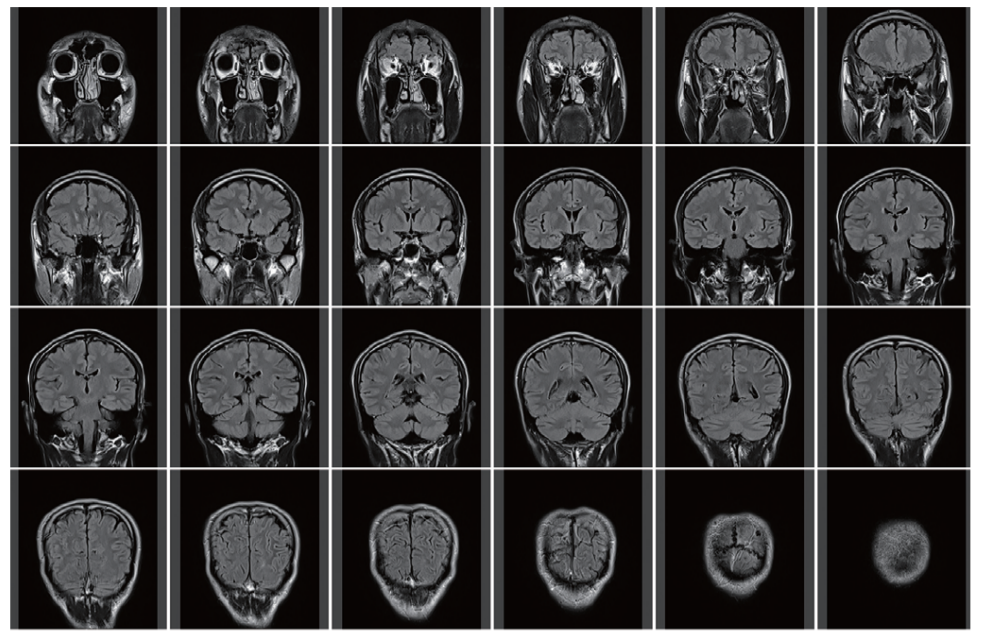
4

認知症と診断されたら…生活について

認知症と診断された場合に必要なことを3つ紹介します。

1つ目は、糖尿病、高血圧、不眠症などの併存疾患があれば、しっかりと治療することです。生活習慣病などの持病は、間接的に認知症を悪化させることがあります。まずは元々持っている病気を、かかりつけの病院でしっかり治療してもらうことが重要です。

2つ目は、人との交流や活動を適度に保つことです。人との会話は認知症の予防になり、予後にも影響するといわれています。外出する機会を作ったり人と接する機会を作るという意味



でも、デイサービスや訪問看護を利用するというのはひとつの選択肢ではないかと思います。認知症は、人との関わりや交流を保てるよう、周りの人の支えが大切になるため、まずは認知症についてご家族が理解することが重要です。同じことを何回も言われて「うっとうしい!」ではなくて「うんうん」と聞いた方がいいケースもあります。認知症を知ることが、ご本人への対応を改善していく一つの手がかりにもなると思います。

3つ目は、その人にあった生活環境を検討することです。認知症が中等度に進行していても人格がしっかり保っている方もいらっしゃるなど、症状は人それぞれです。「認知症はこうだ」とひとくくりにすると、その方の尊厳を失わせてしまうことになってしまいます。個々のケースとして「本当はこう思っているのでは?」と、性格や認知症の度合いなどに合わせて対応を考えていくことが大切です。もともと対人交流が苦手な方もおられます。デイサービスなどで人との関わることを避けたいという人もいます。一般的にはデイサービスや訪問看護などの利用をすすめることが多いですが、本人が利用を拒否することもあります。本心から本人が「嫌」と言っているのか、認知症の症状としての拒絶なのかなどケースバイケースで考えていくことが重要です。

ご本人やご家族だけかかえると負担が大きいのですから、担当医や病院のケースワーカーに相談して頂くと、介護保険の申請、デイサービス、訪問看護、施設入所などの様々な社会資源の選択肢が見えてきます。認知症を疑い、困ったら、お気軽にご相談下さい。

アルコール依存症専門治療 受けられます

2021年4月より当院は、愛知県の『依存症専門医療機関(アルコール健康障害)』に選定されました。専門知識をもつ医師の診察をはじめ、看護師・公認心理師・栄養士など多くのスタッフで専門の入院・外来治療を行っています。

本人・家族だけでお酒の問題と向き合うのは大変つらく、孤立感を感じたり落ち込んだりしやすいと言われてしています。一人で戦わずに、病院のスタッフと一緒にお酒との付き合い方を考えて、健康を取り戻していきましょう。



スーパー救急病棟での治療を うけることができます

スーパー救急病棟は、精神科救急医療を中心的に担う高規格の精神科専門病棟です。医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士など多職種による質の高い医療を集中的に行うことで患者さんの早期社会復帰を目指します。



病室の半分以上は個室であり、患者さんには快適なアメニティと個々に合わせたよりよい治療を提供できるようになっています。ご本人やご家族が退院後の生活に不安を抱くことがないよう心理教育を行ったり、退院後生活を安定させるようなデイケア、デイナイトケア、ショートケア、作業療法でのプログラム、訪問看護などのご提案もいたします。

うつ病に

光トポグラフィー検査 実施しています

光トポグラフィー検査は精神科領域で初めてとなる、疾患を客観的に目で見える形で評価する先進的医療です。専用装置を頭にかぶり血液量変化を測定し、脳機能を波形で表示します。

測定された波形は疾患によって異なるパターンを示すため、その結果を参考に診断や治療計画の補助として役立てることができます。



『リワーク』ってご存知ですか？

こころの病気があるために、一人ではなかなか復職・就職できない方を対象にリハビリテーションを行います。こころの病気は一般的に再発しやすいと言われてしています。



自立支援センターほっぷでは医学的な視点で復職に向けてサポートします。



学校での集団生活に苦手さを感じるお子さんを支援します

当院では小・中・高校生を対象に学校での集団生活が苦手と感じるお子さま、不登校や引きこもり傾向があるお子さまを対象に医療としての支援を行っております。相談、訪問、通所プログラムを組み合わせ、ひとりひとりに向き合っていきます。



児童思春期
デイケアJOY
ホームページ

社会医療法人 杏嶺会
上林記念病院 理念

街と人が明るく健康でいられますように

上林記念病院



TEL0586-61-0110(代)

〒491-0201

愛知県一宮市奥町字下口西89-1

上林記念病院

検索

当院ホームページは
スマートフォンからも
ご覧頂けます。

